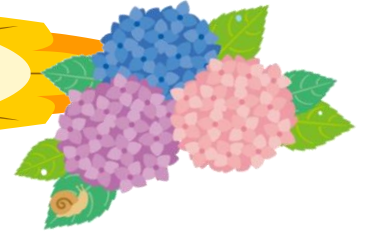




麻生津ネット



学びがつながる学校を目指して ～意欲と意志を育てます～

今月は、本お便りの裏面に、今年度のスクールプランを紹介させていただいています。「主体的に問題解決」「受容・共感」「協働」など様々なキーワードを入れながら、「意欲と意志を育て、学びがつながる学校」を目指しています。家庭・地域との連携を基盤として、教職員が何をどのように頑張るのかをまとめたものです。

全てのおそうづっこの姿に、既にその糸口があります。例えば、月曜日の朝一番、玄関で6年生が1名近づいてきて「委員会で麻生津小学校の児童が一番多かった時のことをクイズにしたいんです。教えてもらえますか?」と言ってきました。大休みに話をしようと約束し、1000名以上だったピークの年と人数を伝えると、「うちのお母さんが麻生津出身なんです、その時1000名以上いたって言ってました」と嬉しそうに伝えてくれました。「ちょうどこの時期に小学生だったんだね」と会話が続きます。この6年生の表情や姿からは、「家庭での穏やかな対話からヒントを得て、児童数をクイズに出そうと考えたこと」「委員会で全校のみんなに伝えたいとワクワクしていること」が分かりました。麻生津小の過去と現在への思い、週末と平日の時間、家庭と学校の空間と活動、数の変化や割合等の学習、様々な視点で学びがつながり、みんなのための活動への意欲が膨らんでいることが分かります。

同じ日の月曜日の朝、1年生が「先週話していたエビのこと、家で調べたよ」と伝えてくれました。「玄関の水槽にいるヤマトマエビが大きくなっている」と先週発見してくれた1年生です。身を乗り出して聴くと「水を吸って身体に入れて、綺麗な水を出してくれるんだよ」と熱心に話してくれました。誰から言われたわけでもないのに、1年生がとった「家で調べて学校で伝える」という行動は「意欲と意志」の芽生えそのものです。その内容はSDGsや生き物の秘密、命の不思議さ等、様々な学習に発展する可能性をもって、あらゆる学習や活動に、多様に広がるのです。

おそうづっこが「これをやりたい」「伝えたい」と思いながら元気に登校してくれるほど、嬉しいことはありません。どの児童にも確かに素晴らしいところがあり、自ら気づき、やってみようとし、表現し、多くの人とつながる力があります。（※全員のエピソードを網羅することはできませんが、おそうづっこの頑張りをホームページ内のブログでも毎週紹介しています。どうぞご覧ください。）

家庭・地域と学校とのつながりを大切にしながら、児童一人一人の「学びたい糸口」を見つけ、力を発揮できるよう、教職員一同力を合わせて頑張っていきます。校内だけにとどまらず、いろいろなおそうづっこのよさをどうぞ児童本人にも学校にもお知らせください。皆様のご支援の程、よろしく願いいたします。

6・7月のおもな行事予定

6月

- 2日（木）4年校外学習
（クリーンセンター・グリーンセンター）
6年校外学習（福井駅周辺）
- 6日（月）委員会
- 7日（火）授業参観
- 8日（水）授業参観
- 9日（木）1・3・4年歯科検診
- 13日（月）3年校外学習（スーパーマーケット見学）
- 16日（木）2・5・6年歯科検診
- 22日（火）1・3年交通安全教室
- 23日（木）5年宿泊学習
- 24日（金）5年宿泊学習
- 27日（月）集金日・クラブ
- 29日（水）保護者懇談会（7月1日まで）
- 30日（木）保護者懇談会

7月

- 1日（木）保護者懇談会
- 4日（月）委員会
- 6日（水）指導主事学校訪問
- 11日（月）集金日・クラブ
- 20日（火）全校集会・町内子供会・授業最終日
- 21日（水）～8月26日（木）夏季休業

下校時刻の変更

- 6月 6日（月）委員会
5・6年 15:10下校
- 27日（月）クラブ活動
4～6年 15:10下校
- 29日（水）～7月1日（金）
保護者懇談会
全校 13:10下校
- 7月 4日（月）委員会
5・6年 15:10下校
- 9日（水）指導主事学校訪問
全校 14:10下校
- 11日（月）クラブ活動
4～6年 15:10下校
- 20日（火）授業最終日
後日お知らせいたします



資源回収のお願い

今年度も資源回収を6/5（日）に行います。教育活動とPTA活動の意味をつなげ、子供達の指導を充実させていきますので、ご協力の程よろしく願いいたします。


なお、感染防止、事故防止などのことから、子供達は、最終回収場所のフクビ化学駐車場には行かないようにご配慮ください。

令和4年度 福井市麻生津小学校 スクールプラン

●福井市学校教育目標
郷土福井に誇りを持ち、たくましく
生きる子どもの育成

●学校教育方針
学びをつなぐ・未来につなげる
～「つながる」を大切にされた学校づくり～

●研究主題
確かな学力、生き生き麻生津っ子をめざして
子供の「学ぼうとする姿」を育てる
授業改善



〈学校教育目標〉 自ら学び、未来を拓く児童の育成

〈めざす学校像〉 自らの力を発揮し、生きる力の「もと」を育む学校

- 知識・技能のもと： 感じることと気付くこと
- 思考力・判断力・表現力のもと： 見渡し見通し工夫しやり直す・思いを自分の言葉や表現で出すこと
- 学びに向かう力： 好奇心、粘り強さ、仲間による支えを自分なりに取り込むこと

〈めざす麻生津っ子〉 「しようとする」志向の重視と 資質能力の核「情意」の育成

知（学ぶ意欲、思考力・表現力）： 進んで学び、考える力・表現する力を高めようとする子

徳（他者との協働）： 自分の力を出し、認め合い、協力して行動しようとする子

体（心身の健康としなやかさ）： 心と体を大切に、粘り強くやってみようとする子

●家庭・地域の願い

- ・喜んで登校し、自ら学ぼうとする子
- ・思いやりをもって助け合う子
- ・あいさつができる子
- ・園小中接続の推進、つながりの強化
- ・あそびの伝統の継承 等

●足羽中学校区教育
意識調査に基づく PDCA サイクル
の実践検証
自ら学ぶ基盤を培う家庭・地域
との連携

全ての教職員による カリキュラム・マネジメント ⇄ 子供の姿を核とした 教職員の学び合い

	確かな学力の定着	豊かな心の育成	健やかな心身の育成	家庭・地域との連携
重点	◎主体的に問題解決できる力を培う	◎多様な価値観を受容・共感できる力を培う	◎困難を乗り越えようとする意欲を育てる	◎様々な人と協働できる力を培う
具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りと学びの自覚化をつなぎサイクルを生む「楽しい授業」実践を行う。 ・タブレット、学びポケットを活用した交流と発展学習等に取り組む。 ・インクルーシブ教育推進のチーム体制を整備し、児童への支援を行う。 ・図書支援員や公立図書館、地域ボランティアと連携し、読書に親しむ多様な機会を設定する。 ・年間を通した児童意識調査（3回）を行い授業や活動のPDCA検証を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ソーシャルスキルトレーニングを取り入れながら、個と集団を育てる学級・学年経営、協働する人間関係づくりを推進し、人権・道徳教育を進める。 ・放送やオンラインの積極的な活用を行い、認め合える関係作りを行う。 ・集団でのルール作りや話し合いなどの経験を増やし、自己調整力を育てる。 ・スマートルール、情報モラルを保護者と共有し定着させる。 ・コロナ禍の異学年等との交流を工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全校への指導、児童会活動、環境整備を絡め、運動習慣、感染防止、健康・安全意識等の向上を工夫する。 ・子供の多様な表現活動の場を設定し、自己有用感を醸成する。 ・一人一人の児童と計画的に面談を行い、教育相談の充実を図る。 ・家庭および校区内の園と連携し、規則正しい生活習慣の確立を図る。 ・地域の実情に応じた様々な自然災害等への避難訓練や指導を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自然、様々な人々、地域の偉人や文化施設等に親しみ、地域活動と生活・総合、食育等の学習を絡め、社会に開かれた教育課程編成に取り組む。 ・自分で計画を立てる多様な家庭学習・人生の進んで勉強を推奨する。 ・オンライン、機会を捉えた少人数の情報交換等、校種を超えた教職員のつながりで接続を図る。 ・スクールカウンセラー、関係機関との連携を強化する。
数値	<ul style="list-style-type: none"> ・授業に進んで取り組んでいる児童 80% ・校内授業研修会年間 8 回以上 ・相談相手がいる教職員 100% 	<ul style="list-style-type: none"> ・憧れを育て夢や目標を抱く活動（全学年） ・学校が楽しい児童 90% ・いじめ解消 100% 	<ul style="list-style-type: none"> ・テレビやゲームは時間を決めて守る児童 75% ・体力づくりをしている児童 70%以上 ・園小中連携により家庭への啓もうだよりを作成・活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の行事等に参加する児童 85% ・自分で考えた家庭学習ができる児童 70% ・保護者メール配信働きかけ月 4 回

基盤	<p>●業務改善のための取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行事等のねらいの構造化による精選 ・留守番電話活用 18：00～7：30 ・ノー残業デー水曜 18 時 ・校時表見直し ・デジタル化推進等 	<p>●学び合う教職員集団のための取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・15 時以降の教職員の対話確保 ・一人一授業による校内授業研修 ・ホットラインによる児童理解、支援共有 ・園小中参観交流 ・オンライン活用
----	---	--